

○ 東陽小学校

- ・ 学校評価の集計結果について
- ・ 学校関係者評価について

学校評価の集計結果につきまして

美幌町立東陽小学校
校長 佐藤 章博

早春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動へのご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

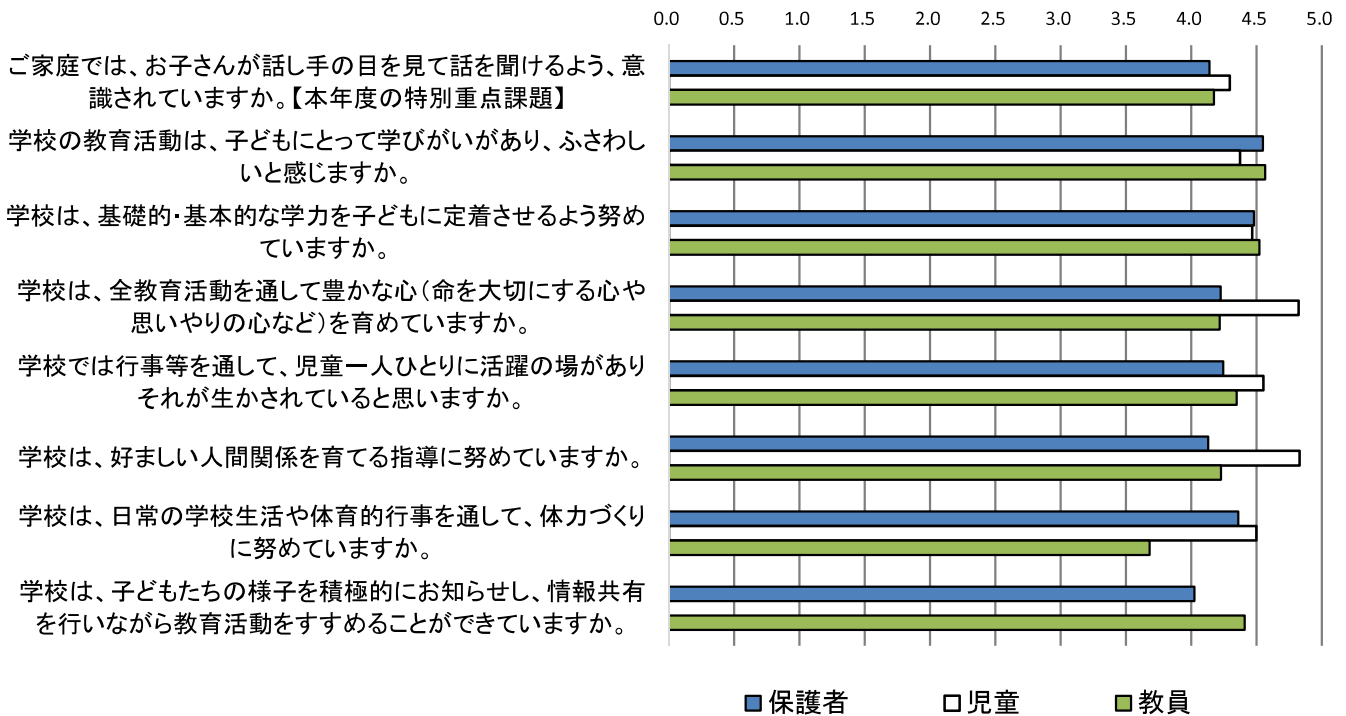
さて、2月に本校の教育について学校評価アンケートをお願いいたしましたところ、多数のご協力をいただきまして誠にありがとうございました。今回、児童のアンケートならびに教職員の反省も合わせて学校としての評価を分析し、その結果と考察をまとめさせていただきました。今後の学校経営に十分に活かしていく所存であります。多くの保護者の皆様のご協力に心より感謝申し上げますとともにご報告させていただきます。

平均点は、A=5点、B=4点、C=2点、D=1点とし、合計点を該当項目の回答人数で割って算出

	評価項目	保護者			児童【分布比率】				職員【分布比率】							
		保護者	児童	教員	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
特別重点	1 ご家庭では、お子さんが話し手の目を見て話を聞けるよう、意識されていますか。【本年度の特別重点課題】	4.1	4.3	4.2	38%	51%	10%	1%	42%	52%	5%	1%	43%	43%	13%	0%
	[前年度対比]	▲0.0	▲0.0	▲0.2	-4%	6%	-1%	0%	-5%	5%	-1%	1%	0%	-9%	9%	0%
	○ 概ね達成できたと考えます。2年目という事もあり、もう少しできたのでは？という意識が若干のマイナスに現れたと考えます。															
教育課程	2 学校の教育活動は、子どもにとって学びがいきなり、ふさわしいと感じますか。	4.6	4.4	4.6	56%	44%	1%	0%	63%	25%	11%	1%	57%	43%	0%	0%
	[前年度対比]	0.1	▲0.1	0.2	7%	-5%	-2%	0%	-3%	-3%	7%	-2%	17%	-17%	0%	0%
	○ 概ね達成できたと考えます。特に教員がプラス側に寄ってきているのはより良い教育活動を提供しようという意識している現れです。それが児童・保護者の皆さんにより実感して頂けるよう今後も取組んで参ります。															
教科指導	3 学校は、基礎的・基本的な学力を子どもに定着させるよう努めていますか。	4.5	4.5	4.5	57%	39%	5%	0%	62%	31%	6%	1%	52%	48%	0%	0%
	[前年度対比]	0.1	0.1	0.3	11%	-10%	0%	0%	-1%	7%	-4%	-2%	17%	-13%	-4%	0%
	○ こちらも概ね達成できていると判断させていただきます。特に保護者の皆様と教員でAの比率が増えていることから、学力定着のための様々な取組みを行い、それを認めていただいているということかなと考えます。 ○ チャレンジテストの分析結果も、国語、算数だけでなく理科や社会でも全道同等かそれを上回る結果となることが多いです。 ○ 今後も授業改善、研修の充実、学習サポートなど、「生きる力」につながっていく「学力」の定着に努めて参ります。															
道徳	4 学校は、全教育活動を通して豊かな心（命を大切にす心や思いやりの心など）を育てていますか。	4.2	4.8	4.2	41%	51%	9%	0%	89%	8%	2%	1%	48%	39%	13%	0%
	[新規項目]															
	○ 数値的には概ね達成と考えます。 ▼ ただ、保護者の皆様からは「何を持って判断して良いか迷う」といったご意見もいくつか頂きました。学校や児童は実際に行われた道徳的教育活動とその成果から判断しています。ご家庭におかれましては、お子様の変容やご来校時に見せる子どもたちの様子からご判断いただければと思います。															
特別活動	5 学校では行事等を通して、児童一人ひとりに活躍の場がありそれが生かされていると思いますか。	4.2	4.6	4.3	48%	41%	10%	2%	68%	26%	6%	0%	52%	39%	9%	0%
	[新規項目]															
	○ こちらも概ね達成できていると判断させていただきます。児童とご家庭の満足度に差があるのは、後述の「学校からの発信力」が低かったからかもしれません。 ○ 今後も学校生活が充実していると感じさせる教育活動を行い、お子さんが満足そうに登校する姿をお見せできるよう、がんばって参ります。															
生徒指導	6 学校は、好ましい人間関係を育てる指導に努めていますか。	4.1	4.8	4.2	41%	46%	13%	1%	86%	12%	1%	0%	41%	50%	9%	0%
	[前年度対比]	0.0	▲0.0	▲0.1	4%	-6%	2%	0%	-1%	0%	0%	0%	6%	-15%	9%	0%
	○ 概ね達成と考えます。ただ、ご家庭におけるC評価の比率が高めであることから、不十分さをお感じになっているご家庭も多いと認識いたします。 ▼ 丁寧な指導を日常的に心がけているところですが、説明が不十分であったり、満足して頂ける対応が行えていない場面があったのかもしれない。気を引き締めて、取組んで参ります。															
健康	7 学校は、日常の学校生活や体育的行事を通して、体力づくりに努めていますか。	4.4	4.5	3.7	53%	39%	7%	1%	72%	18%	7%	3%	14%	64%	23%	0%
	[前年度対比]	0.0	0.5	0.0	7%	-10%	2%	1%	19%	-6%	-9%	-4%	1%	-2%	5%	-4%
	○ 概ね達成できたと考えます。「体を動かすのが楽しい」と答えた児童が大きく増えたことは喜ばしいことです。児童会で行っているハッピータイムや全校遊びも一役買っていると思います。															

家庭・地域との連携	8	学校は、子どもたちの様子を積極的にお知らせし、情報共有を行いながら教育活動をすすめることができていますか。	4.0	4.4	37%	48%	13%	3%	50%	45%	5%	0%	
		[新規項目]											
		<p>▼ こちらは数値的には概ね達成しているようには思いますが、ご家庭におけるC評価の比率が高めですし、ご意見といたしましても、十分ではないというご指摘を頂いております。</p> <p>▼ 質問の意図と致しまして『保護者の皆様に分かりやすい形で情報を提供し、共通認識に立った教育活動を行えているか』をお尋ねしたかった次第です。文言の表現も良くなかったと反省しております。</p> <p>▼ 今後も、「個別の案件における情報提供ならびに相互理解の上での教育活動」を可能な限り丁寧に行って参ります。併せて、学校全体としての情報提供のあり方や質の高さも考えていかなければと思っております。</p>											
	平均値	46%	45%	8%	1%	69%	25%	5%	1%	45%	47%	9%	0%
	[前年度対比]	2%	-4%	1%	0%	6%	-2%	-2%	-2%	12%	-14%	4%	-1%

平成29年度 東陽小学校アンケート グラフ



意見・要望に関する考察

- ・ たくさんのご意見、ご要望をいただきました。ありがとうございます。
- ・ すべてにお応えできるわけではありませんが、当然のご意見とを感じるものについては検討・改善していく所存です。
- ・ 宿題につきましても前年度にもお伝えをさせて頂いているところですが、それぞれの学年に応じ適宜お出しさせて頂いております。その量や回数が多いと感じる方もいれば少ないと感じる方もいらっしゃるかと思います。気になるようであればまず担任にご相談頂ければと思います。併せて、重ね重ねのお願いになりますが、ぜひご家庭でも子どもたちの学習時間の確保と望ましい生活習慣の確立にご協力ください。
- ・ 生徒指導・学級経営に関しまして、はげましの声を多数頂きました。感謝申し上げます。同時に、苦言も頂戴しております。絶えず「より良く」の思いを、すべての教職員が持って取り組んでおりますが、それでも至らない点もございます。発生したほとんどの案件について、管理職を含む多くの職員で情報共有し対応しようと取り組んで参りました。結果的に十分ではなかったことにつきましては心よりお詫び申し上げます。現在も「学校として」継続的に取り組中であるとご理解頂ければ幸いです。
- ・ 情報発信の不十分さをご指摘いただきました。特に少年団活動や個人の習い事などでの頑張りを発信してはどうかというご意見を数点頂いております。学校外の活動(少年団含む)につきましては、その線引きが難しく一部のお子さんのみを対象とってしまうとそれも課題が残るものと考えております。本校のクラブについては何の問題もありませんので、もっと積極的な情報提供に心がけていきたいと思っております。
- ・ 至らぬ点、ご不満等、多々あるかと存じます。少しでも改善に向かう姿をお見せできるよう取り組んで参ります。今後とも、忌憚のないご意見をいただきたく存じます。重ねて、本校の教育活動に今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

学校評議員による学校評価「講評」

- 評価項目については評議員ではわからない部分もあるが、説明を受け、状況を理解した。
- スケートのひも縛りなどは家庭で事前に行うべきこと。スキーやしつけなど、様々なことを全て学校でというのはどうだろう？
- 現在は学校での保護者個人懇談を行っているとのことだが、家庭訪問に戻してみるのはいかがでしょうか？分ることも多いと思うが…？
- 子どもの性格・特性を捉えた指導のあり方の工夫を今後ともお願いしたい。
- 叱るにしても、なぜ怒られたかが分かるように叱ることが大切だと思う。それらを通して、「見てもらえている」という気持ちを子どもに感じさせて欲しい。それが自己肯定感を高めることにもつながる。
- 教育のあり方については、信念を持って進めて行って欲しい。期待している。